

名 称	デ ー タ
世田谷一成城局間中継線 〔② 東京都, ③ 100% 完成〕	事業実施箇所: 東京都世田谷区砧1丁目一同5丁目 事業主体: 日本電信電話公社東京電通局 工事期間: 昭和45年10月~47年12月 事業予算: 6億8000万円 洞道延長: 1.07km 構造寸法: 内のり寸法(高さ2.7m・幅1.9m, 高さ2.7m・幅2.1m) ケーブル収容条数: 48条 施工業者名: 協和電設
大里局分局開始 〔② 埼玉県, ③ 100% 完成〕	事業実施箇所: 埼玉県越谷市 事業主体: 日本電信電話公社関東電通局・同埼玉電通部 工事期間: 昭和46年9月~48年2月 事業予算: 5億5000万円 マンホール新設: 99個 管路布設: 互長20.1km・延長(互長×条数)183km 施工業者名: 協和電設
名古屋一津一奈良間同軸ケーブル方式 〔③ 100% 完成〕	事業実施箇所: 名古屋市一四日市市一名張市 事業主体: 日本電信電話公社東海電通局 工事期間: 昭和46年6月~48年1月 事業予算: 13億円 マンホール新設: 476個 管路布設: 互長68.2km・延長(互長×条数)436km 直埋ケーブル布設: 2.7km 施工業者名: 日本電信電話施設・協和電設・日本通信建設
京都一京都市南外交換設備 〔③ 京都市, ③ 100% 完成〕	事業実施箇所: 京都市中京区御池通り 事業主体: 日本電信電話公社近畿電通局 工事期間: 昭和46年3月~47年8月 事業予算: 4億1000万円 洞道延長: 815m 構造寸法: 内のり寸法高さ2.2m・幅1.7m ケーブル収容条数: 80条 施工業者名: 近畿通信建設
雑飼限局ユニット増設 〔② 福岡市, ③ 100% 完成〕	事業実施箇所: 福岡市寿町一相生町 事業主体: 日本電信電話公社九州電通局 工事期間: 昭和46年6月4日~47年8月31日 事業予算: 2億6000万円 シールド式洞道延長: 138m 立坑: 2か所 構造寸法: てき上り内径3.1m ケーブル収容条数: 48条 施工業者名: 日本通信建設

農 業 土 木

昭和47年度の農業基盤整備事業は約2750億円(対前年度伸び率23.3%)の事業費の投資により、農業生産の基盤の整備開発を行ない、農業構造の改善、農業の生産性向上をはかるものである。農業の土地条件の整備と水利施設の近代化と水利の安定と合理化を推進する土地改良事業において、国直轄の国営土地改良事業の本年度新規着工は、中勢用水(三重県津市、総事業費57億円、工期昭和47~53年、主要工事業、ダム1か所、頭首工1か所、幹線水路20.5km、揚水機場1か所)ほか26地区であり、継続実施中の128地区と合わせて154地区となる。さらに、県営事業としての圃場整備、かんがい排水事業等の新規着工は約330地区に達している。

農用地開発事業すなわち、農業経営規模の拡大をはかり、農産物需給の動向と地域の特性に応じた農業生産を推進する見地からの農地開発事業と干拓事業を実施している。農用地開発事業における直轄事業は、草地開発事業を含めて継続70地区の事業を実施するとともに、屏風山地区(青森県津軽地区、総事業費37億円、工期昭和47~53年、主要事業雨水路53km、幹線排水路90km、道路20km、農地造成面積846ha、揚水機場1か所)等12地区に新規着工するものである。

干拓事業は、国営有明干拓他19地区を継続して実施するとともに、八郎潟干拓事業にお

名 称	デ ー タ
香 川 用 水 〔② 香川県仲多度郡, ③ 77% 完成 (昭和48年3月31日現在)〕	事業実施箇所: 高松市ほか4市29町 事業主体: 水資源開発公団 工事期間: 昭和43年4月1日~50年3月31日 事業予算: 150億5000万円 取水工: $l=60$ m(1億9800万円) 導水幹線: $l=8023$ m(23億5000万円) 東部幹線: $l=34470$ m(77億5300万円) 高瀬支線: $l=3867$ m(5億5100万円) 施工業者名: 熊谷組・大成建設・前田建設工業
三 重 用 水 〔② 四日市市, ③ 40% 完成(昭和48年3月31日現在)〕	事業実施箇所: 四日市市ほか1市8町 事業主体: 水資源開発公団 工事期間: 昭和45年4月1日~50年3月31日 事業予算: 134億5000万円 中里貯水池: 堤体積201万 m^3 ・有効貯水量1600万 m^3 (34億7000万円) 幹線水路: $l=68$ km(28億9000万円) 調整池: 2か所(8億5600万円) 支線水路: $l=154$ km(5億3900万円) 施工業者名: 大成建設
米 沢 平 野 農 業 水 利 事 業 〔② 米沢市, ③ 38% 完成(昭和48年3月31日現在)〕	事業実施箇所: 米沢市ほか1市2町 事業主体: 農林省 工事期間: 昭和43年10月~51年3月 事業予算: 111億円 水溜ダム: 中心コア式ロックフィルダム・堤高62.0m・堤長205m・堤体積103万 m^3 ・総貯水量3100万 m^3 ・工期昭和45~48年 羽黒川頭首工: 堤長27m・取水門1.5×1.8m×117・取水量3 m^3 /sec 三沢頭首工: 堤長33m・取水門4.6×2.5m×1門/2.3×2.5m×1門・取水量14.7 m^3 /sec 鬼面川頭首工: 堤長70m・取水門3.8×1.0m×4門・取水量12.2 m^3 /sec 大小屋川頭首工: 堤長19m・取水門1.2×1.5m×1門・取水量1.0 m^3 /sec 滋郷堰: 堤長15m・取水量2.8 m^3 /sec 施工業者名: 鹿島建設・日本国土開発
新 川 第 二 農 業 水 利 事 業 〔② 新潟市, ③ 86.5% 完成(昭和48年3月現在)〕	事業実施箇所: 新潟市ほか1市4町7村 事業主体: 農林省 工事期間: 昭和42年4月~48年3月 事業予算: 60億8000万円 (新川河口排水機場)形式: 横軸円筒型可動翼軸流ポンプ 口径および台数: 4200mm×6台 原動機: 電動機1300kW 実揚程: 2.00m 排水量: 240 m^3 /sec 施工業者名: 新川水系排水制御建設工事JV(代表日本無線) 鹿島建設・臨海土木工業

概 要 ・ 特 色
<p>東京世田谷地域と都心を結ぶ中継回線を確保するため本工事を計画した。 工事場所の土質は上部が関東ローム、下部が礫であり、土かぶり 2~3m で開削工法による洞道を築造した。 一部下水カルバートの下越し箇所には漏水防止対策として薬液注入を行ない、また、付近は住宅地のため杭をオーガー削孔により建込み、一部無騒音油圧式杭拔機の試行も行った。</p>
<p>東京近郊の衛星都市は都内で極限に達し諸企業の進出と、ベットタウン化で著しい発展を続けている。これに伴う電話の需要も年々増加の一途をたどり、各都市の通信土木施設の拡充工事も活発に実施されている。 本工事区域は軟弱地盤であったため、施工にあたりグラウト工およびウエルポイント工を併用した。</p>
<p>東京一名古屋一大阪間の長距離伝送路増設工事のうち、東海通信局管内分の 12 心同軸ケーブル（1万 6200 回線用）の布設に伴う工事である。 本工事は隣接通信局管内の回線接続工事線表との関連もあり完成が急がれた。また、国道 165 号線の改修工事および近鉄単線区間の複線化工事と競合しながら施工された。</p>
<p>京都市内への市外回線の将来増および防災対策などを目的として、市外電話局の分散設置が計画され、その局付近に集中するケーブルを収容するための洞道が京都市内の中心部に東西に貫く主要幹線道路の御池通りに築造された。 占用位置は家屋に 1.5m まで接近した歩道上であり、騒音防止のためのアースオーガー工法による杭建込み、家屋側の地盤強化のための薬液注入を行ないながら開削工法により施工された。</p>
<p>福岡市の住宅地区として発展が期待されている雑餉隈地域の電話の積滞の解消と、福岡市の水道計画に関連して、九州初の企業間共同溝としてシールド式洞道を新設したものである。 到達立坑には柱列打工法、トンネル部には圧気工法を採用した。また、鹿児島本線軌道越区間内の沈下測定については自記記録装置を採用し、施工中の管理に配慮した。</p>

いては、八郎潟中央干拓地に模範的な新農村を建設するため、農地等整備事業を実施する。さらに、本年度中に国営干拓事業については、部分竣工を行なうものである。

土地改良事業実施の長期計画である新土地改良計画は、昭和 47 年度末に立案され、内閣に提案されたものは、総額 140 000 億円を昭和 57 年度までに投資し、農業生産基盤の整備と、構造の改善および農業の生産の向上をはかり、安定した農業経営とするものである。

土地基盤整備費の前年対比は下記のとおりである。

事業名	昭和 46 年 (百万円)	昭和 47 年 (百万円)	対前年比 (%)
農業基盤整備	223 325	275 467	123.3
基幹用排水施設整備	70 864	79 232	112.0
圃場整備	41 008	53 662	130.9
農道整備	18 393	30 550	163.3
その他	30 334	40 536	134.0
農用地開発	39 731	47 907	120.6
干拓事業	9 048	8 507	94.0

概 要 ・ 特 色
<p>吉野川水系の水資源利用の高度化をめざす吉野川総合開発の一環として吉野川水系に建設される早明浦ダムに水源を求め、池田ダムから取水し、導水幹線延長約 8 km・幹線水路約 39 km にて地区内に導水するもので、これにより香川県下の農地約 3 万 ha の農業用水を充足させるとともに、都市用水を供給するなど総合事業を行なうものである。</p>
<p>水源施設として中里野水池、溪流取水施設を建設し、幹線水路約 68 km、調整池 2 か所、支線水路 153 km にて地区内に導水するもので、これにより三重県下の農地約 7 400 ha の農業用水を充足させるとともに、都市用水を供給するなど総合事業を行なうものである。</p>
<p>本事業は山形県米沢市を中心に 2 市 2 町にまたがる 8 846 ha の水田地帯の農業経営近代化と安定をめどとして、羽黒川上流・刈安川に有効貯水量 2 900 万 m³ の水窪ダムの築造、さらに流域変更のための頭首工 2 か所、導水路を建設して水源を確保し、一方、取水施設の純廃合を行なうこととして、頭首工 3 か所および幹線水路 56 km を建設して、農業用水の確保と合理的な用水系統を確立しようとするものである。</p>
<p>昭和 30 年ころから目立ち始めた新潟地盤沈下は、昭和 50 年度においてゼロ標高地帯の面積 6 000 ha に及ぶと推定されるに至った。このため、新潟市南に広がる西蒲原平野の水田地帯 2 万 ha の排水を受ける新川が相対的に水位上昇をきたすこととなり、この抜本対策として河口に大排水機場を設置するものである。また、新川へ排水する 22 か所の既設排水機場を含めた機場の系統的運転管理を行なうために、コンピューターの設置により遠隔自動制御システムを導入している。</p>

名 称	デ	ー	タ
都道府県営農業用水合理化対策事業 (① 用水合理化, ② 津山市, ③ 1.7% 完成 (昭和 47 年 2 月現在))	事業実施箇所: 岡山県津山市東部	事業主体: 岡山県	工事期間: 昭和 48 年 4 月 1 日~52 年 3 月 受益面積: 550.9 ha 頭首工: 改築 1 か所 水路工: 5 万 5 760 m 沈砂池: 1 か所
県営圃場整備事業佐渡山地区 (② 新潟県, ③ 100% 完成 (昭和 47 年 1 月 29 日現在))	事業実施箇所: 新潟県西蒲原郡巻町・同吉田町・同燕市	事業主体: 新潟県	工事期間: 昭和 42 年 10 月 1 日~47 年 3 月 31 日 事業予算: 10 億 3 000 万円 区画整理: 528 ha (圃区長辺 330~450 m・短辺 100 m・耕区 100 m×30 m) かんがい排水路: 幹線 2 万 593 m (用水 1 万 4 364 m・排水 6 229 m) 暗きょ排水: 492 ha (形式・導水きょ方式) 道路: 51 km (支線 12 km・幅員 6 m・耕作道 39 km・幅員 5~4 m) 施工業者名: 吉田建設・佐藤建設
天塩川上流かんがい排水事業 (② 北海道, ③ 43% 完成 (昭和 48 年 3 月 31 日現在))	事業実施箇所: 士別市ほか 1 市 4 町	事業主体: 北海道開発局	工事期間: 昭和 42 年 4 月 1 日~52 年 3 月 31 日 事業予算: 160 億 8 000 万円 受益面積: 1 万 5 906 ha 頭首工: 6 か所 用水路: 6 路線・102 km 排水路: 3 路線・15 km 施工業者名: 地崎工業・鹿島建設・大成建設
笠岡湾干拓事業 (② 笠岡市)	事業実施箇所: 岡山県笠岡市地先公有水面	事業主体: 農林省	工事期間: 昭和 41 年 4 月 1 日~54 年 3 月 31 日 事業予算: 133 億円 堤防工: 東側堤防 $l=3816$ m・西側潮止堤防 $l=850$ m 排水工: 寺間機場 $\phi 1800$ mm×3 台・ $\phi 1000$ mm×1 台・片島機場 $\phi 400$ mm×1 台 用水工: 船總機場 $\phi 500$ mm×1 台・ $\phi 400$ mm×2 台 導水路 $l=2$ 万 2 000 m 干拓地区内工: 道路 $l=4$ 万 2 000 m・ $B=5.0\sim 6.0$ m, 排水路 $l=3$ 万 6 000 m, 農地整備 1 005 ha 施工業者名: 臨海土木・大本組
国営総合農地開発事業 (① 母畑地区, ② 福島県, ③ 25% 完成 (昭和 48 年 2 月 1 日現在))	事業実施箇所: 福島県須賀川市・同石川町ほか 1 市 3 村	事業主体: 農林省東北農政局	工事期間: 昭和 43 年 3 月~54 年 3 月 事業予算: 154 億円 農地造成面積: 1 238 ha (畑・樹園地) 区画整理面積: 2 719 ha (水田 1 355 ha・畑 1 364 ha) 受益戸数: 3 797 戸 主要工事: 貯水池 (千五沢ダム/ $H=43$ m・総貯水量 1 300 万 m^3 , フィルダム/ $L=180$ m・有効貯水量 1 160 万 m^3)・用水路 110 km (トンネル 4.3 km・管水路 105.7 km)・農道 422.5 km (幹線 85.4 km・支線 337.1 km) 施工業者名: 青木建設・住友建設・五洋建設
県営農地開発事業 (① 八女地区, ② 八女市, ③ 90% 完成 (昭和 48 年 1 月 31 日現在))	事業実施箇所: 福岡県八女市大字本	事業主体: 福岡県	工事期間: 昭和 44 年 4 月~49 年 3 月 事業予算: 4 億 9 000 万円 農地造成面積: 85.33 ha (茶 75.77 ha・みかん 9.56 ha) 受益戸数: 83 戸 主要工事: 農道 16.8 km (幹支線 4.8 km・耕作道 12.0 km)・排水路 10.7 km・貯水池 (アースダム・有効貯水量 6 万 1 000 m^3)・全自動式多目的畑地かんがい施設 (かん水・防除・施肥) 施工業者名: 久保田建設・浅野工事・橋爪組
広域営農団地農道整備事業 (① 胆沢地区広域営農団地農道・胆沢川橋梁工事, ② 岩手県, ③ 72% 完成 (昭和 48 年 2 月 19 日現在) (橋梁だけは 62%))	事業実施箇所: 岩手県胆沢郡若柳・同金ケ崎町永岡	事業主体: 岩手県	工事期間: 昭和 45 年 12 月 1 日~49 年 3 月 31 日 事業予算: 2 億 5 000 万円 橋長: 260 m (52 m×5 スパン) 幅員: 全幅員 9.5 m・車道幅員 8.5 m 形式: 単純合成桁 設計荷重: $TL=20$ t 施工業者名: (下部) 丸共建設・(上部) 栗本鉄工

観光・レクリエーション

観光レクリエーション事業は、この一年もとどまるところを知らない勢いで、北は北海道から南は沖縄まで、日本中の自然風景地を“改造”中である。

とくに海洋博を 2 年後に控えた沖縄では、本島・離島を問わず、本土資本による土地の買占めがつついている。これが、ほとんどマリーナ・ホテルを中心とした観光レクリエーション関係の事業をめざしている。

筆者らの調査によれば、昭和 50 年の海洋博までに、本島だけで計画を含めて 90 軒・9 300 室のホテル建設が本土資本を中心に予定され、すべて完成するとすると、それだけで現在の 2 倍近い数字になってしまう。海洋博を起爆剤として沖縄県の地域格差は正をという目標が達成できるか否か、必ずしも楽観を許せない。海洋博そのものについては、現在、用地確保とプランニングの段階である。

本土を含めて全般的にいえることは、新幹線・高速自動車道との関連で、これらの沿岸線での開発計画が目白押しである。

名 称	デ	ー	タ
斑尾高原スキー場 (② 長野県飯山市)	事業実施箇所: 長野県飯山市斑尾高原	事業主体: 藤田観光 (株)	工事期間: 昭和 47 年 1 月~47 年 12 月 事業予算: 6 億 9 000 万円 (第 I 期事業費) 施工業者名: 清水建設・安全寮道
スポーツ総合施設シャンピア (② 名古屋市)	事業実施箇所: 名古屋市昭和区	事業主体: 東レスポーツセンター (株)	工事期間: 昭和 46 年 10 月~47 年 6 月 事業予算: 20 億円 建物面積: 8 800 m^2 延床面積: 2 万 3 500 m^2 敷地面積: 2 万 1 670 m^2